

2019年「秋のシンポジウム」の開催

テーマ「他人を傷つけるネット被害とは」
～ネットへの書き込みによる被害の実例を踏まえ、
ネット被害への対処・防止のために何ができるか～

2019年11月18日(月) 於:機械振興会館 (参加者:約100名)

- ・開会あいさつ
中山 明 ネット社会協議会 代表世話人
- ・来賓あいさつ
竹村 晃一 総務省 電気通信事業部長
- ・基調講演
スマイリーキクチ タレント
「誰もが中傷の加害者になりうるSNSの怖さ」
- ・パネルディスカッション
「ネット被害への対処とその防止のために何ができるか」
- ・閉会あいさつ
小笠原 倫明 (一財)マルチメディア振興センター 理事長



基調講演

タレント
スマイリーキクチ氏

開会あいさつ

来賓あいさつ



中山 明 代表世話人



竹村 晃一 部長



パネルディスカッション

(コーディネータ) 森 亮二 弁護士
(パネリスト) 左から
スマイリーキクチ氏、上沼 紫野、友村 真也、中溝 和孝、 畠 良
弁護士 副委員長 課長 SIA事務総長



閉会あいさつ

小笠原 倫明 理事長

- ・基調講演では、タレントのスマイリーキクチ氏から、凄惨な殺人事件の犯人であるとのデマをネットで長年に渡って書き込み・拡散された実体験を基に、ネット中傷被害の深刻な実態についてご講演。
- ・パネルディスカッションでは、そのような誹謗中傷等のネット被害に対し、被害に遭ったときの警察等への対応方法やプロバイダ責任制限法に基づく対処(送信防止措置等)など、適切な対処方法の被害者等への周知の重要性のほか、ネット被害を起ささないための地道な啓発活動の大切さ等について議論。
- ・引き続き、不適切な書き込み・拡散等によるネット被害に関する情報を関係者が共有し、認識を深めていくことの重要性等を確認。